

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度(評価)
A:十分達成できている C:やや不十分である
B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	有田工業高等学校(全日制)
1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の検証や授業公開、基礎力テストの実施により基礎学力の定着と学習意欲の向上が見られた。今後も取組を継続し、授業改善と学習支援の充実を図り、さらなる学力向上を目指す。</li> <li>定時退勤推進日の周知や部活動休養日の設定など働き方改革を組織的に推進できたが、年休の計画的取得が引き続き課題である。次年度は休暇取得の啓発と部活動休養日の徹底により、教職員が健康に働ける環境整備を進めていく。</li> <li>いじめ事案については早期発見・早期対応により重大事案に至ることはなく、担任を中心とした組織的な指導体制やスクールカウンセラーの活用により適切な対応ができています。今後も教職員の連携を強化し、いじめの未然防止と早期対応に努めていく。</li> <li>生徒アンケートでは一定の満足度が得られたがさらに高めていきたい。地域みらい留学の志願者は活躍の場を広げ一定の成果が見られた。今後は受入体制の充実と広報活動の強化を図り、学校の魅力向上と志願者確保に努めていく。</li> </ul>
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<p>【スクールミッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○有田が持つ様々な地域資源を活用し、ものづくりを通して生涯学び続け、新しい価値を生み出す技術者を育成する。</li> <li>○国内初の陶器工芸学校の伝統を継承するセラミック科、デザイン科の魅力を引き上げるとともに、広く県内外に発信して生徒募集し、学校及び地域の更なる活性化を目指す。</li> </ul> <p>【学校教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勉強 「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立した人間の育成</li> </ul>
4 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唯一無二の学校魅力化促進を図り、本校が有する4つの学科(セラミック科、デザイン科、機械科、電気科)の魅力発信を通して、県内外における生徒募集に努め、志願者数の増加に向けて取り組む。</li> </ul>

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりに関する興味・関心が高い生徒</li> <li>・専門的な知識・技術を身につけるために、各学科の学びや資格取得に積極的に取り組もうとする生徒</li> <li>・地域や社会に何かの形で貢献したいという意欲のある生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりの技術者として必要な、基礎学力と専門的な知識・技能を習得できる授業を行います。</li> <li>・学校行事・ホームルーム活動や部活動、地域との連携などによる協働活動を通して、社会人としての基本的な姿勢や思いやりの心、自律心を伸ばします。</li> <li>・生徒会活動や資格取得・コンテスト参加について、生徒の主体的、自発的な取組となるようにサポートを積極的に行います。</li> <li>・生徒それぞれが個性や長所を把握できる取組や、3年間を見通したキャリア教育で、生徒の進路意識を育み、進路実現につなげます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりを通して、生涯学び続ける技術者となる生徒</li> <li>・自己や他者、地域を愛し、地域から愛される生徒</li> <li>・積極的に挑戦し、新しい価値やものをつくり出す生徒</li> <li>・個々の個性を光らせ、地域や社会に光を灯す生徒</li> </ul>

5 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標(数値目標)	
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ものづくりの技術者として必要な基礎学力及び専門的な知識・技能を習得するための授業改善</li> <li>○個々の生徒の能力や適性に合った組織的・系統的な進路指導の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力の定着を図るため、教育課程編成及び学力向上に向けた会議を4回実施することで、PDCAサイクルの推進に努める。</li> <li>○基礎的な学力の定着のため、基礎力テストの年間全体平均を7.0点以上を目指す。</li> <li>○就職希望者の第一志望内定率95%以上を目指す。</li> <li>○就職・進学希望者の進路決定100%を目指す。</li> <li>○進路情報の職員間での共有と生徒への提供を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程委員会及び学力向上対策委員会を活性化させ、より効果的な評価方法を確立する。また、遠隔授業等の整備を進めることで、学力の定着を図る。</li> <li>・研究授業や授業公開週間を年2回設定することで、教員が相互に授業を参観し、指導助言を行うことで、授業改善に繋げる。</li> <li>・基礎力テスト前日に対策の時間を設けて学力向上に繋げる。</li> <li>・進路希望調査やガイダンス、見学等の実施により生徒の進路意識の高揚と志望状況の把握を図る。</li> <li>・進路先研究と対策の徹底により合格率の向上を目指す。</li> <li>・企業や学校からの情報収集とその共有に努める。</li> </ul>
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心を育む教育活動を実施し、「生命を尊重する心の大切さがわかった」と回答した生徒97%以上を目指す。</li> <li>○生徒アンケートによる早期発見及び職員研修を通じた共通理解を図る。</li> <li>○いじめ防止等について組織的対応ができていたと回答した教員95%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による性に関する講話(7月)・教育相談講話(9月)、人権・同和教育講演会(10月)を実施する。</li> <li>・いじめの対応についての研修を年間に1回以上行う。</li> <li>・いじめアンケートを年2回以上実施する。</li> <li>・いじめ・体罰等拡大委員会を年2回実施する。</li> <li>・スクールカウンセラーの活用を積極的に行う。</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>④「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</li> <li>⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④「健康に良い食事をしている」生徒90%以上</li> <li>⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」</li> <li>○R7年度の生徒の一斉健康診断後の受診勧告により、治療のための受診は、視力は40.2%、歯科は26.7%の受診率となった。今年度も下回ることなく、数値の上昇を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食摂取を進める講話、保健だまりの発行を年度内に3回以上実施する。</li> <li>・アンケート調査を複数回実施し、分析データを生徒へ還元することにより、生徒の食の意識向上を図る。</li> <li>・昨年度のアンケート結果を分析、原因を調査し、摂取率を高めるための情報提供、相談を実施する。</li> <li>・メッセージを活用し、全ての保護者に保健だまりを配信し、健康診断後の治療のための受診率の向上を図る。</li> <li>・生徒の一斉健康診断後の受診勧告により、とくに1年生の未受診者への個別の指導を実施し、受診率の向上を目指す。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日を定時退勤日に設定し、朝礼時に口頭による呼びかけを行う。</li> <li>・年次休暇を取得しやすい職場の雰囲気づくりに努める。</li> <li>・部活動休養日を設定し、休養日取得を促す。</li> </ul>
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒に関する情報共有と継続的な生徒支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談に関する生徒情報共有会を4回以上実施する。</li> <li>○職員対象の特別支援教育研修会を実施し、その後アンケートにより「特別支援教育を理解度が向上した」と答えた教職員の割合70%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の状況を捉えて必要に応じて教科担当者会を実施する。</li> <li>・「個別の記録シート」の活用や学年会や各科会議により、生徒の情報共有を図る。</li> <li>・職員対象の特別支援教育研修会を実施する。</li> </ul>

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標(数値目標)	
★唯一無二の誇り高い学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校運営協議会(学校魅力強化委員会)の更なる活用による地域・外部との連携強化</li> <li>◎地域や外部と協働し、高校の魅力強化及び志を高める教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校運営協議会を年4回開催する。</li> <li>★学校運営協議会での提言を1個以上実現する。</li> <li>◎「地域から大切にされている雰囲気を感じる」と答えた生徒の割合を80%以上、教職員の割合を90%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年目となる学校運営協議会のメンバーを刷新し、学校魅力化アドバイザーの活用、生徒との意見交換の場を設けるとともに、熱誠の充実を図り、地域・外部との連携の充実を図る。</li> <li>・地域を愛し地域から愛される学校づくりに向け、学校行事である「文化祭」や「地域学習の日」、生徒会活動、部活動による地域に向いたボランティア活動の充実を図る。</li> </ul>
★唯一無二の誇り高い学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「地域みらい留学」を通じた全国募集の更なる推進(セラミック科・デザイン科)と受け入れ生徒の支援体制の確立</li> <li>◎生徒のウェルビーイングの向上</li> <li>○学校の魅力発信の強化と広報活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「自分の学校を中学生に勧めることができる」と答えた生徒の割合83%以上、教職員の割合90%以上を目指す。</li> <li>★県外からの体験入学の参加者数50名以上、県外からの受験志願者25名以上を目指す。</li> <li>★地域みらい留学志願者5名以上を目指す。</li> <li>◎今の生活の満足度(生徒の肯定的回答10段階中の6以上)72%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の志願者増に向けて、県内中学校及び隣接地区(佐世保・松浦地区)の中学校へ訪問し、体験入学の広報活動を実施する。</li> <li>・学校魅力化アドバイザーによる学校の魅力化に係る研修を実施する。</li> <li>・地域を愛し地域から愛される学校づくりに向け、学校行事である「文化祭」や「地域学習の日」、生徒会活動、部活動による地域に向いたボランティア活動の充実を図る。</li> </ul>

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育 ★・・・唯一無二の誇り高い学校づくり

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)	
----------------------	--